

組長  
石田 泰尚  
ソロ・ヴァイオリン

# 石田組

双雲

組員



塩田 脩  
1stヴァイオリン



伊東 翔太  
1stヴァイオリン



竹内 弦  
2ndヴァイオリン



山本 翔平  
2ndヴァイオリン



萩谷 金太郎  
ヴィオラ



©Shigeto Imura  
古屋 聡見  
ヴィオラ



西谷 牧人  
チェロ



©ayane shindo  
森山 涼介  
チェロ



©木下 雄介  
米長 幸一  
コントラバス

2026

# 1/31(土)

14:00 開演 (13:30 開場)  
たましんRISURUホール  
大ホール  
東京都立川市錦町3丁目3-20

全席指定  
S席 6,000円 A席 5,000円  
【ムーサ友の会会員 各席1割引】  
※未就学児入場不可

発売日  
ムーサ友の会先行 9/24(水)  
一般 9/26(金) 各日 10:00 ~  
※各発売日初日は窓口販売は無し  
※発売日はお一人様 5 枚まで購入可能

たましん RISURU ホール [窓口/電話]

TEL.042-526-1311  
受付 9:00 ~ 20:00  
休館 第3月曜 (祝日の場合は翌平日)

財団オンラインチケット

<https://www.tachikawa-chiikibun.or.jp/a11-20260131/>

イープラス

<https://eplus.jp/>



財団オンライン



イープラス

日本で最も聴きたいヴァイオリニストの一人として不動の存在となった石田泰尚。彼が率いる「石田組」は2014年に発足したましんRISURUホールには3度目の登場！進化し続ける石田組をお聴き逃しなく！

### Program

- シベリウス：アンダンテ・フェスティヴァーヴォ
- ホルスト：セントポール組曲 op.29-2
- グリーグ：ホルバルク組曲 op.40
- バルトーク（ウィルナー編曲）：ルーマニア民俗舞曲
- シルヴェストリ（松岡あさひ編曲）：  
バック・トゥ・ザ・フューチャー
- チャップリン（松岡あさひ編曲）：スマイル
- レッド・ツェッペリン（近藤和明編曲）：移民の歌
- レッド・ツェッペリン（近藤和明編曲）：カシミール
- レインボー（松岡あさひ編曲）：キル・ザ・キング

※出演者、曲目、曲順は変更になる場合がございます

## 石田組 プロフィール

ヴァイオリニスト石田泰尚の呼びかけにより 2014 年に結成された弦楽合奏団。プログラムによって様々な編成で演奏をするスタイルを取っており、メンバーは“石田組長”が信頼を置いている首都圏の第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に公演ごとに“組員”が召集される。レパートリーはバロック音楽から映画音楽、プログレッシブ・ロックまで幅広く各々のスタイルをぶつけ合いながら織り成す演奏スタイルは弦楽アンサンブルの新しい世界を切り拓く存在として各方面から注目されている。単独公演のみならず SUGIZO、鈴木愛理らとのジャンルを越えたコラボレーションや組員自ら指導に当たる教育プログラムの実施など活動は多岐にわたる。2018 年に NHK-FM「ベストオブクラシック」及び NHK-BS プレミアム「クラシック倶楽部」で紹介されその熱いステージの様相が大きな反響を呼び、2019 年に E テレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2022 年より毎年 30 公演以上の全国ツアーを行い結成 10 周年を迎えた 2024 年には NHK「あさイチ」に出演、弦楽アンサンブルでは異例となる日本武道館公演を行い8,000人以上を動員し大きな話題となった。同年リリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』が第39回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞した。2026年10月には大阪城ホールでの公演が予定されている。

### 石田 泰尚（いしだやすなお）

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスター（2025年4月よりソロコンサートマスター）を兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ！」を刊行。2025年4月より横浜みなとみらいホール「プロデューサー in レジデンス」第3代プロデューサーに就任。使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。

### 塩田 脩（しおだしゅう）

アメリカ合衆国ボストン生まれ。ジュリアード音楽院プレカレッジを経てニューイングランド音楽院卒業。2010年に来日し、京都市交響楽団ゲスト首席、兵庫県芸術文化センター管弦楽団ゲストコンサートマスター、小澤征爾音楽塾コンサートマスター、水戸室内管弦楽団などを経て2014年東京都交響楽団に入団。第1ヴァイオリン奏者をつとめる。石田組、トリトン晴れた海のオーケストラ、サイトウキネン・オーケストラメンバー、玉川大学非常勤講師。これまでに潮田益子、田中直子、シャリー・ギブンスの各氏に師事。

### 山本 翔平（やまもとしょうへい）

東京生まれ。桐朋学園大学、同大学研究科修了。2007年、東京都交響楽団に入団。オーケストラの他、ソロや室内楽も積極的に取り組む。特に室内楽では、Quartetto Hymnus のメンバーとして活動し、2012年と2015年に松尾学術復興財団より助成金を得る。リゾナーレ室内楽講習会にて、「緑の風音楽賞」を受賞。現在、東京都交響楽団第2ヴァイオリン副首席奏者を務める。

### 西谷 牧人（にしやまきと）

東京藝術大学及び大学院を修了後、米国インディアナ大学にて研鑽を積む。これまでに河野文昭、堤剛、ヤーノシュ・シュタルケルの各氏に師事。2005年帰国し兵庫芸術文化センター管弦楽団に創設メンバーとして在籍（～2008年）。2015年、東京交響楽団首席ヴァイオリン奏者の清水泰明と自作自演弦楽ユニット「清水西谷」を結成、全曲オリジナル作品による「KODO」にてCDデビュー。2013年度青山音楽賞受賞。2008～2016年東京藝術大学非常勤講師、2008～2019年東京交響楽団首席チェロ奏者を務める。現在は独立し、パッサからジャズ、タンゴ、自作自演までジャンルを越えた演奏活動を展開している。2024年4月より愛知県立芸術大学准教授。

### 伊東 翔太（いとうしょうた）

東京音楽大学付属高等学校を経て、同大学を特別特待生として卒業。第27回日本クラシック音楽コンクールアンサンブル部門弦楽器の部第2位（最高位）。2020飛騨河合音楽コンクール第2位（最高位）、それに伴い最優秀者による受賞記念リサイタルに出演。奨学金を得て、ギルドホール音楽院短期留学プログラム修了。小澤征爾音楽塾XVIIに出演。これまでにヴァイオリンを三戸泰雄、篠崎功子、荒井英治、大谷康子の各氏に師事。現在、東京都交響楽団ヴァイオリン奏者。

### 萩谷 金太郎（はぎやきんたろう）

東京都出身。東京音楽大学卒業。桐朋学園大学院大学を修了。ヴァイオリンを藤原浜雄に、ヴィオラを百武由紀に、室内楽を上田晴子、岩崎洗の各氏に師事。PMF2011、カザルス国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭などに参加。京都市交響楽団契約楽員、NHK交響楽団アカデミーを経て、2017年より東京都交響楽団に所属。オーケストラの他、スタジオレコーディングやライブサポート、作編曲など、多岐に渡って活動。

### 森山 涼介（もりやまりょうすけ）

愛知県豊田市に生まれる。東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。在学中、藝大フィルハーモニアと共演。大学卒業時には、同声会賞を受賞し、記念演奏会に出演。第8回ビバホールチェロコンクール特別賞（井上賞）、原村室内楽セミナーにて「緑の風奨励賞」、「ハイドン賞」を受賞。豊田市文化振興財団 文化新人賞受賞。故久保田顕、林良一、林俊昭、北本秀樹、山崎伸子の各氏に師事。2016年10月より一年間、アフィニス文化財団海外研修員としてドイツ ミュンヘンへ留学し、バイエルン国立歌劇場管弦楽団ソロ・チェロ奏者イヴ・サヴァリ氏のもと研鑽を積む。現在、東京都交響楽団チェロ奏者。チェロアンサンブル Quartet Exploce メンバー。

### 竹内 弦（たけうちげん）

香川県高松市生まれ。東京都立芸術高等学校を経て東京芸術大学を卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。これまでにヴァイオリンを藤野妙子、服部芳子、原谷百代、故岡山潔、松原勝也の各氏に師事。2013年、日本フィルハーモニー交響楽団入団。2ndヴァイオリン副首席奏者、首席奏者を務める。2021年、広島交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者として入団。

### 古屋 聡見（ふるやさとみ）

桐朋学園音楽学部在学中にN響アカデミーに在籍・修了。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンに入学。ベルリンフィルハーモニー管弦楽団を始めとする、ドイツ国内の主要オーケストラにエキストラとして参加する。その後セビリア王立管弦楽団にて副首席として半年間期間契約で在籍。現在は日本フィルハーモニー交響楽団、アンサンブル金沢、仙台フィルハーモニー管弦楽団等の国内オーケストラでゲスト首席として出演している。江戸純子、岡田伸夫、ヴァルター・キュスナーの各氏に師事。

### 米長 幸一（よねながこういち）

10歳よりコントラバスを始め、堤俊作氏に師事。桐朋学園大学卒、研究科修了。在学中に池松宏、ゲーリー・カー、ライナー・ツェペリッツの各氏に指導を受ける。2000年日本演奏家協会コンクール弦楽器の部第1位。2001年より神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席コントラバス奏者を務める。武蔵野音楽大学講師。